

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年 10 月 9 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10760号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	三井化学アグロ株式会社
第22323号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「稲(湛水直播)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「2回以内(種もみへの処理は1回以内、本田では1回以内)」から「1回」へ変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

〔 変 更 前 〕

作物名	適用病虫害名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 4～8g	は種前	1 回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	4 回以内 (移植前の 土壌混和は 1 回以内、移 植前の土壌 灌注は 2 回 以内、本田で は 1 回以内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒュム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 3～6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒュム菌)	50～100g/m <sup>2</sup>			深さ 5～10 cm の苗代土 壌に均一に 混和する。	

〔変更前〕 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイソ ゾールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 ( <i>フザリウム</i> 菌) 苗立枯病 ( <i>ヒュム</i> 菌)	50～100g/m <sup>2</sup>	は種前	1 回	深さ 5～10 cm の苗代土 壤に均一に 混和する。	4 回以内 (移植前の 土壌混和は 1 回以内、移 植前の土壌 灌注は 2 回 以内、本田で は 1 回以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾粒重量の 3 %			過酸化カルシウム 剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	2 回以内 (種もみへの 処理は 1 回 以内、本田で は 1 回以内)

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイソ ゾールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 4～8g	は種前	1 回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	3 回以内 (移植前の 土壌混和は 1 回以内、移 植前の土壌 灌注は 2 回 以内)
	苗立枯病 ( <i>フザリウム</i> 菌) 苗立枯病 ( <i>ヒュム</i> 菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 3～6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 ( <i>フザリウム</i> 菌) 苗立枯病 ( <i>ヒュム</i> 菌)	50～100g/m <sup>2</sup>			深さ 5～10 cm の苗代土 壤に均一に 混和する。	

【 変 更 後 】 （ 続 き ）

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイキサ ゾールを含む 農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 ( <i>フザリウム</i> 菌) 苗立枯病 ( <i>ビシム</i> 菌)	50～100g/m <sup>2</sup>	は種前	1 回	深さ 5 ～10 cm の苗代土 壌に均一に 混和する。	3 回以内 (移植前の 土壌混和は 1 回以内、移 植前の土壌 灌注は2回 以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾籾重量の 3 %			過酸化カルシウム 剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	1 回

【 申請者による変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。